

# 会議顛末書

										記録者	係長 飯田 元之	
供覧	市長	副市長	部長	副部長	課長	補佐	係長					
	課員											
件名	牛久沼活用及び道の駅整備に係る市長との意見交換会											
年月日	平成30年7月21日(土)											
時間	(午前の部) 午前10時00分から午前11時45分まで (午後の部) 午後1時00分から午後3時15分まで											
場所	(午前の部) 馴柴コミュニティセンター多目的室 (午後の部) 龍ヶ崎市役所附属棟1階第1会議室											
事務局	中山市長、川村副市長、龍崎市長公室長 道の駅・牛久沼プロジェクト外課 由利課長、青木補佐、中島係長、須原係長、記録者 【牛久沼活用構想策定支援業務受注者】 (株)北山創造研究所 村田洋一氏 【道の駅基本・実施設計業務受注者】 (株)K計画事務所 西村周浩氏											
次第	1 開会 2 市長挨拶 3 牛久沼感幸地構想について 説明：(株)北山創造研究所 村田洋一氏 4 道の駅基本設計概要について 説明：(株)K計画事務所 西村周浩氏 5 意見交換 6 閉会											
内容	下記のとおり報告します。  ■参加人数：合計70名 (午前の部) 馴柴コミュニティセンター 45名 (午後の部) 市役所附属棟 25名 ■発言要旨：別紙参照											
要措置事項												
情報公開	公開	非公開(一部非公開を含む)とする理由					(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)					
	部分公開 非公開	公開が可能となる時期(可能な範囲で記入)					年 月 日					

龍ヶ崎市市長公室道の駅・牛久沼プロジェクト課

【午前の部／馴染コミュニティセンター】 ※発言内容は、一部要約して掲載しています。

発言者	発言要旨
事務局	【開会】
市長	【挨拶】
北創	※北創＝(株)北山創造研究所 【牛久沼感幸地構想について説明】
K計画	※K計画＝(株)K計画事務所 【道の駅基本設計の概要について説明】
市民 A	<p>環境のことについて中心に教えていただきたいと思います。</p> <p>今年の 10 月につくばで世界湖沼会議がありますが、牛久沼はどう関わっていくのでしょうか。</p> <p>次に、感幸地という言葉はとてもすばらしいと思いますが、感じる幸せというのは非常に多面性があって、何をもって幸せとするかは個々の感性によります。</p> <p>私は、それを揺り動かすのは、歴史と文化ではないかと感じています。</p> <p>龍ヶ崎が持っている自然と歴史から考えると、市全体のネットワークの中で、龍ヶ崎の自然や緑を考えていただけるととてもうれしいなと思います。</p>
市長	<p>世界湖沼会議は今年茨城県で開かれます。</p> <p>茨城県は霞ヶ浦という日本で 2 番目の湖を有していますが、1 番目の琵琶湖と比べると、水質浄化が課題となっています。</p> <p>また、茨城県は湖沼の多い県ですので、各県が森林環境税を導入した際に、茨城県の場合は平地が多いため、森林環境税だけではなかなか県民の理解が得られないだろうということで、湖沼を加えた森林湖沼環境税を設けました。そういった意味でも、湖沼に関しては県民の関心も高いところです。</p> <p>牛久沼は県も関心を示しており、昨年には文化会館で水際線シンポジウムを行っていただきました。世界湖沼会議のイベントの一つと位置付けられたとも伺っています。</p> <p>世界湖沼会議では、牛久沼の水質についてのパネル展示もするようですので、牛久沼の水質改善についても、今後のテーマとして真剣に考えていかなければならないと思います。</p> <p>2 つめの、自然環境を活かすということは、さきほどの北創さんの話にもありましたように、乱開発をするのではなく、自然を活かしながら、牛久沼の周辺 5 市 1 町の首長会議も設けていますので、周辺の水辺空間を活かしながら、ネットワークを構築していくことが大切だと考えています。</p>
市民 B	<p>市長がオープニングの挨拶でシビックプライドの成熟についてお話されていましたが、例えば、市民と一緒に道の駅の花壇を作るとか、そういったものはあるのでしょうか。</p> <p>市民が関わらないと、ただ出来たものを与えられて、出来たからみんな来てほしいでは意識が高まらないというのが龍ヶ崎の特徴かなとも思うので、その点いかがお考えか伺いたいと思います。</p>
市長	<p>K 計画さんからお話もありましたし、その前の感幸地構想の話にもありましたが、水辺の空間を映えさせるのは緑ですし、その緑の空間をどうやって活かしていくか、今あるものをどういう風に残していくのか、そして、新しい緑の空間をどう作っていくかということもありますので、今ご提案いただいたようなお話は大変ありがたいですし、市民の皆さんと一緒にこの道の駅、そして牛久沼を魅力化し、シビックプライドを醸成できるような場所にしていければと思います。今のような積極的な意見を市民の皆さんからあげていただくことを期待していますし、共に作りあげていくことを楽しみにしています。</p>
市民 C	<p>良い構想だと思いますが、その構想を発展させていくプロセス、維持発展させていく力について心配しています。道の駅で言えば、人が関わる部分を発展的にしていけるような仕掛けをぜひ入れていただきたい。</p> <p>今、話が出た市民参加もそうですし、民間が参加するのもそうです。相当のパワーが要ると思いますが、発展的にしていくような仕掛けをぜひ入れ込んでいただければありがたいなと思っています。</p>
市長	<p>持続可能な運営は肝であろうと考えています。</p>

	<p>運営主体は選定作業を進めているところですが、市が扇の要となり、K計画さんや北創さんと連携をとりながら、魅力的な道の駅とするため力を合わせていきたいと考えています。</p> <p>また、地の利を活かし、観光バスの呼び込みや、牛久大仏やアウトレットといった県南の魅力的な場所に足を延ばす起点となるチャンスもあると思いますので、そういったチャンスを活かしながら、維持発展していける道の駅にしていく努力が大切だと思います。</p> <p>そういった意味でも、常に時代に合わせて変化できる道の駅というのは、先ほど北創さんからありましたが、仮設可変な道の駅として、その時、その季節に合わせて運営の仕方を変えられるような場所にしていかなければならないと思います。</p> <p>物産のお話ですと、確かに龍ヶ崎市だけを見ると、畑作に関して懸念されているご意見もありましたが、文化会館の直売所でも、皆さんかなりご利用いただいていますし、道の駅ができることで新たな出荷意欲や生産意欲を喚起するような場所にしていかなければならないと思います。</p>
市民 D	<p>ここに住んで 20 数年位ですが、あまり牛久沼周辺に馴染みがないので、今後、大いに市民が利用できる場所にしていくことは賛成です。</p> <p>イメージ写真の中にも良い写真がありましたが、建築デザインについてはどうお考えでしょうか。展望台がありましたが、茨城の海辺にはガラスが曇っている展望台のある施設を多く見るので、そういったものよりは、みんなで夕日を眺められるデッキを作るとか、今までの施設とは違うものを取り入れてはどうでしょうか。</p> <p>水辺沿いの広場がこの施設の特徴になると思うので、素材とか作り方をよく考えないと、施設全体が活かせないのかなとも感じます。</p> <p>また、駐車場の考え方ですが、大型車の駐車方法についても改善できるのかなという思いもありますし、普通車の駐車台数も 160 台程度とのことですが、イベント時にはちょっと足りなくなるのではないかなとも思います。</p> <p>入口の所の緑地帯ですが、施設と駐車場の間に緑を設けるとか、緑地帯の配置も考えないといけないのかなと思います。</p> <p>駐車場から施設に至るまで、遊歩道を通りますということですが、できるだけ水辺の近くに通した方が歩く人も楽しいのかなと思います。</p> <p>水辺側の方に縦方向に棧橋みたいなものを出すだけでも、広場を利用している人が水辺の方に出て行って、牛久沼の水辺の環境を感じられるようなデッキ的なものを作るとか、そういった工夫があったらいいのかなと思います。</p>
市長	<p>広場ですけれども、水辺にあるようなデッキ調のものを考えながら進めているところです。面積もできるだけ広く取って、ゆっくりくつろいでいただければなと考えています。遊歩道についても、水辺に一番近い所に作りますので、親水性にも配慮してまいります。</p> <p>また、今年、非出水期になってからですが、護岸の改修を行います。護岸は岸壁のような切り立ったものではなくて、法面で、水に親しめるような形にしていこうとも考えています。</p> <p>棧橋のお話もいただきましたけれども、やはりこの水辺の空間を活かすためには、大きなポイントになってくるのかなと思います。どういうものにするか、知恵の出し所なのかなと考えているところです。</p> <p>駐車場のレイアウトに関しては、この後、事務局にも説明させますが、国との一体型整備ということもあり、色々な制約などもあって、国にご指導いただきながら設計を進めているところもあり、ご理解をいただきたいと思います。</p> <p>あともう一つ、緑の空間というのは、先ほども質問にありましたが、イベントを開く場所としても活用できたら良いかなと思います。</p>
事務局	<p>駐車場につきましては、資料左側に大型駐車場として 35 台、これは国道 6 号の計画交通量から必要台数を算出しており、今後、国が設計と工事を行う予定です。大型車の駐車場配置に関しては、道の駅はすべての車が利用可能ですので、トレーラークラスが旋回できるようなゾーニングを取った結果、このような配置が適当であろうというところです。</p> <p>小型者の駐車場の台数については、前面道路の交通量上、必要最低限の台数は 107 台ですが、市で上乗せをして 161 台を確保しています。</p> <p>更に、お手元の資料にある道の駅の計画地の右側に白い部分がありますが、これも</p>

	<p>市の所有地です。北創さんからも説明があったエリア A という箇所ですが、将来的には沼を活かした活用方法を考えていきますが、当面はここを臨時駐車場とするような使い方も検討してまいりたいと考えているところです。</p>
市民 E	<p>自然ということ、それから 100 年の先まで見据えるというのが一つのキーワードになっているかと思いますが、その自然ということはどう考えていくのかということ、明治神宮の森をモデルに出されたのは、ある意味でちょっと不適切じゃないかと感じています。先を見越しながら考えるということでは理解できますが、牛久沼は、あるがままに放っておくというのが、牛久沼本来の自然ではないかと思えます。</p> <p>であるとすれば、牛久沼は歴史的には浮田というのがあったというのはご承知だと思のですが、そういった自然との共生ぐらいであって、100 年かけて何かを作るといことではないのではないかと思います。</p> <p>それから、予定地はそもそも湿地、河川区域ですよね。</p> <p>西日本豪雨や、茨城でも 2 年前の常総水害がありました、龍ヶ崎でも昭和 13 年の水害のことは市長も知っているとは思いますが、牛久沼の上流部に大雨が降ったことで牛久沼全体の水位が上がり、表佐貫も含めて全体が水浸しになるという災害がありました。そういった立地条件をどう考えているのかを伺いたい。</p> <p>それから、やはり市が行政計画としてこの構想を出す以上は、事業規模の想定はどうなのかということ。</p> <p>道の駅であればそれなりにイメージは湧きますが、それ以外の牛久沼の活用を行政が責任をもって物を言う以上、費用の事をどう考えているのかということについて、市民としては心配するのですがいかがですか。</p>
北創	<p>明治神宮の 100 年の話を出した意図ですが、牛久沼は自然の豊かな場所ですので、全ての自然をやり直すというつもりは全くありません。</p> <p>その前提に立って、例えば、人の手が入ってしまったところについては、やはり 100 年先、こういったふうに成長するような木を植えていきましようとか、牛久沼全体でどういう役割、ポジションになるのかなど、広い視点で自然を考えていきましようという意図で作りました。</p> <p>また、この先道の駅がにぎわって、周辺にいろんな施設が建つような時代になっても、自然を壊さないよう、コントロールしていくことが必要とも考えています。</p> <p>自然としての名所作りにしても、今ある自然に負荷をかけさせないような意味合いで、今回 100 年の明治神宮を例として掲げさせていただきました。</p>
K 計画	<p>河川法の関係は、私からご説明させていただきます。ご指摘のように、こちらは河川区域となっていますので、治水容量、ハイウォーター（計画高水位）というのが決まっています。今回、建物が建つところは計画高水位より 1 m 嵩上げをしていますので、洪水時でも建物が水没しないように計画しています。</p>
市長	<p>100 年構想については、北創さんが長い目で牛久沼をデザインしていくという意味で 100 年という言葉を用いたと思えますし、その一つの取り組み例としての明治神宮は本当に素晴らしいものであると思えますので、同様な取り組みというわけではありませんけれども、やはり長い目で見て、その次の世代に引き継いでいけるようなという思いで、このような話をさせていただいているところです。</p> <p>実際、水辺までは、龍ヶ崎・河内ですが、岸から先は牛久市、つくば市、つくばみらい市、取手市というエリアで取り囲んでいるわけですので、この周辺を合わせた 5 市 1 町が力を合わせなければならないということでもあります。</p> <p>そういった意味では、長いスパンで見ながら、周辺自治体との温度差を縮めていき、この地域のにぎわいの一つの核となるような牛久沼にしていこうという際には、やはり緑というのは大切なテーマになってくると思えます。</p> <p>100 年というのは一つの例ではありますが、そういった思いが込められていると考えていただければと思います。</p> <p>水質の問題も、少しずつでも進めていかなければならないと思っています。</p> <p>現在、2 枚貝による水質改善の可能性があるのでないかということで、実験的に取り組みを進めていますし、沼のアシ、ヨシ、そして古代蓮の生態系が崩れて、その面積が狭くなっているという問題もあるようですので、その取り組みについても進めていこうとしているところです。</p> <p>あと、先ほどの質問で抜けていた部分の話を北創さんと K 計画さんからお話させていただきます。</p>

北創	<p>仮設可変ですが、今の設計にも反映されていますが、例えば、物販では、土日には人が沢山来るので、野菜をたくさん仕入れる分、それを見越して道の駅を大きく作るのかということ、そうではなくて、例えば広場を使ってマーケットができるようにしたらいのではないかと、なるべく規模感を抑える努力をしています。</p> <p>建築のボリュームについても、ここ数ヶ月、例えばちょっと建物が高かったりもしたところもあったので、高さを下げて欲しいとか、そういったふうな議論はしている最中ですし、展望台についてもそうです。</p> <p>展望台が大きいのか、適切なのか、それとも、あった方が良いのか、ない方が良いのかといったことを常に話し合いながら、今後とも進めていきたいなと思います。</p> <p>パースでは素材感がないので、人口的に見える印象を受けますが、実際にはガラスであるとか、いくつかの素材感が付いて、リアリティがあるようなものに見えてくると思います。</p>
K 計画	<p>仮設可変と言いましても建築基準法がございまして、本当の仮設はできませんが、北創さんからあったように、なるべく建物の中は百貨店のようにはしないで、小さく、細かく仕切った最小限の空間を有効に利用するように建物を計画しています。</p> <p>展望台のご指摘に関しては、今後も協議しながら、一つのイメージとしては、道路側から見たアイキャッチの意味も含めているということが一つございます。</p> <p>あとは、やはり、高い所から牛久沼を見ることができ、そういった場所を作ってはどうかということでご提案したものです。</p> <p>棧橋ですが、我々も提案をさせていただいております、パースの真ん中にあるような感じでできたらいいのではないかと考えています。予算や河川という制約はありますが、実現できるような努力をしていきたいと考えています。</p>
市長	<p>棧橋に関しては、水辺を背景にイベントができたらいいなど、そういった話をしていますので、ここが頑張りどころだと思います。</p> <p>展望台も、いる、いない、色々な声を聞きますが、水辺が綺麗だということで、展望台があることで立寄るインセンティブにもなりえますし、建築デザイン上の形としてもとらえられるのかなとも思います。</p> <p>牛久沼の景観とのバランスもありますし、建物自体のバランスもありますので、今後の実施設計では、この辺も充分検討していかなければならないと思います。</p>
市民 F	<p>これまでこの牛久沼に関する説明会等も何回か開かれています、この間に出た色々な提案が今日の話にどのように繋がっているのかがわかりません。</p> <p>例えば、今日、牛久沼を活用したキャンプとかの学習基地という考え方を入れたらどうかと提案したとして、そのことに関して、市としてはどう考えたよというような、その答えを言って頂かないと我々としては採用されたのか、そうでないのか、わからないと思います。</p> <p>それと、今までの話を聞いていると、漁業関係の話が全くないですが、以前、漁業関係の方が来られて、色々話をされていました。</p> <p>今日みたいな話の中で、漁業関係についても、どのように今までの検討結果が計画に反映させようとしているかということに興味があったのですが、そういったものが抜けていると思いますので、今までの提案なども整理して、市民の意見はどういうふうにとらえて、反映した、しなかったということを次回からはお話いただけるようお願いしたいというふうに思います。</p>
市長	<p>今日ご提示したものに関しては、本当にたくさんのご意見をいただいた中で、実現可能なものはダイレクトで反映しているものもあるでしょうし、あとは、ケースバイケースで、形を変えて採用しているものもあると思います。</p> <p>いつ、どういう場面でご意見をいただいたものを反映していますという説明は不足していたような気がしますので、今後、皆さんにお知らせできればと思います。</p> <p>また、既に意見が反映されているなど感じ取られた方もいらっしゃるかもしれませんが、例えば、キャンプ施設なども、エリア A もそうですし、水辺公園なんかでもニーズもあると思いますので、子供たちにも活用をしてもらって、学習の場にしていくということも、これからアイデアも出てくるだろうと思います。</p> <p>漁業に関して、漁業組合の方のご指導もいただきながら、進めているところですが、例えば、ワカサギの佃煮を作って、道の駅でPRするというのも考えられますし、そういった場所になって行くのかなと考えています。</p>
市民 G	<p>フォトコンテストは非常に良いと思うのですが、夕日の富士山を撮ったときに、鉄</p>

	<p>塔が邪魔をしてしまいます。</p> <p>撤去しろとは言えないですが、移動できないものかと思います。</p> <p>それから、トレイル構想、非常に良いと思うのですが、歩行者と自転車は分離してもらいたい。荒川の河川敷にも遊歩道がありますけど、歩行者と自転車がぶつかるような事故があるというような報道もされています。完全分離は難しいでしょうが、ラインを引くとか分離を考えた設計に配慮をしていただきたいと思います。</p>
市長	<p>フォトコンテストも沢山の皆さんに応募してただけれと思います。高架線の話は、以前、写真家の方にも言われたこともあります。東電の主要幹線だという話もありますので、悩ましいところです。他に移せば他の景色が良いところの阻害になりますし、なかなか難しい問題であると思います。</p> <p>トレイルの歩車分離についても、一つのテーマとしてはあるのかなと思いますので、事故の起こらないよう、例えば自転車と歩行車が一緒になる所は幅を広くするとか、分けるとかということも、これからの検討課題と考えています。</p>
北創	<p>トレイルが実現するとなると、基本的に歩く人の歩きやすい舗装と、自転車の人の走りやすい舗装っていうのは変わってくるので、分けるということは重要ななと思います。荒川の事例なども参考に、今後の提案に活かしたいなと思います。</p>
市民 H	<p>100 年構想というのは大賛成です。というのも、皆さん住宅ローンを 30 年、35 年と組んで、この地域に住んでくるので、この地域はどのぐらい先まで計画を持っているのかということ、住みかえていただく市民の方には、重要な夢のある情報だと思うので、ぜひ、行政であるからとかは関係なく、この地域はこうしていきたいという夢を、強く発信していただければと思います。</p> <p>あと、建物ですが、つくばみらい側から牛久沼越しに見たときに違和感を与えるような建物のデザインはやめて欲しいなと。龍ヶ崎側だけではなくて、周りの市町村の住民さんもとて期待していますので、ぜひお願いしたいなと思います。</p> <p>また、各地でハーフマラソンとかシティマラソンで問題になっているのが、一般道路を封鎖する際、警察の許可を得なければ大会が開催できないことです。</p> <p>一般道路と別にした形で牛久沼を一周できる 20 キロのウォーキングロードができるのであれば、市が目指すスポーツ健康都市宣言にも合致するだろうし、警察の許可が無くても大会が開催でき、色々な可能性が生まれると思います。</p> <p>あと、コンビニエンスストアを設けるというお話ですが、夜間のたまり場になることも懸念されます。防犯効果を期待している方がいらっしゃるようですが、あまり効果はないのかなと思いますので、再度ご検討いただければと思います。</p> <p>最後に、牛久沼の花火大会は周辺市町村の住民も期待していますので、この牛久沼感幸地構想に絡めて、花火大会とかもぜひ、推進していただければなと思います。</p>
市長	<p>長い目で見て、次の世代に繋がり魅力がある誇れる場所にしていける。龍ヶ崎だけではなく、周辺地域の核となるような場所にしていけるという思いは一緒だと思います。</p> <p>交通規制に関しては、規制の必要なルートをできるだけ少なくする努力は必要だと思いますが、橋の部分は既存の道路を使わなければいけない部分もあると思いますし、ルート設定上、道路と交差する部分などができてしまうこともあり、交通規制が必要な部分もあるかと思いますが、できるだけ、そういった場所・距離を減らしていくルート設定が求められるものと思います。</p> <p>コンビニエンスストアに関しましては、賛否の両方のご意見があり課題と思っていますので、これからもご意見を伺えればと思います。</p> <p>花火に関しては、タイミングとか周辺自治体との協議とかもありますので、今、研究中です。道の駅ができたときに記念で花火大会ができれば、盛り上がるのかなという思いもあります。道の駅の開業がオリンピックの年でもありますし、様々なことが重なる年でもありますので、色々盛り上げていくためにも、花火を打ち上げるようなこともできたら良いなと思います。</p>
北創	<p>住宅ローンの視点から 100 年構想を見ていただけるっていうのが、目から鱗でびっくりしました。確かにそういった考え方あるなと思います。</p> <p>コンビニについてですが、これは議論のしどころです。メリット・デメリットについて議論を交わしながら検討したいと思います。今後、指定管理者が決まれば、運営方針もあるので、引き続きの協議だろうとは思いますが、一つ、コンビニを入れるメリットが多かったのは、例えば、この時期だったら汗ふきシートとかタオルとか、ちょっと牛久沼で遊んだ後に欲しいなっていうものを扱ってくれるところが 1ヶ所に</p>

	<p>集約していることで、地域特化型、ここにしかないような色に合わせられるのではないかと思います。みんなが欲しいものが全てコンビニにあれば、他の部分では道の駅の色が出しやすいのではないかという意見もあって、確かに、牛久沼が遊べる場所になるのだったら、コンビニで売っているようなものも必要になってくるのではないかという話もあって、今のところコンビニを確保しているということだと思います。それについては引き続き、議論を続けていきたいなと思います。</p>
市民 I	<p>夕日の見えるところは早めに作っていただきたいです。感幸地構想では、水辺公園は池袋南口公園をイメージしていると思うのですが、このエリアBと水辺公園を繋ぐ道が、より牛久沼の魅力を感じていただける一つのポイントになるかなと思っているので、エリアBや水辺公園のところを15年の中でどのように考えているのかをお伺いできればと思います。</p>
北創	<p>池袋南口公園の事例を報告書で出させていただきましたが、現在の国内の公園の中でも先進的な事例だと思っています。</p> <p>こういった部分かと言えば、今までは公園は公園だけで、民間が公園の近くにカフェを建てるといった流れだと思います。池袋の場合、豊島区が公園の中にカフェを作ること認めて、業者さんに任せましたね、家賃も安価で良いと。その代わりに、公園を綺麗に管理して、地域住民の人たちが楽しめるよう、毎週毎週、イベントを行ってくださいとしました。</p> <p>そうすれば、まちが盛り上がり、そこに集まる人たちが楽しく幸せな公園ができるのではないかということ。更に、防災拠点として備蓄倉庫の役割も果たすような色々なニーズを取り込んで、行政が新しい公園を作るという事例が少しずつ増えてきていますので、龍ヶ崎市さんもいずれ取り入れる時代が来るのではないかなという思いで提案させていただきました。</p> <p>引き続き、こういったことを模索していきながら、先進的な事例を龍ヶ崎市さんの方々にご紹介し、進めさせていただければなと思っています。</p>
市長	<p>エリアBと水辺公園の連携ですが、今営業していない建物もありますので、どのようにしていくか課題となっています。相手様のあることですので、ご理解いただきながら、活用できる場所にしていけたら良いのかなと思います。</p> <p>エリアBから水辺公園のアクセスですが、今、八間堰の橋が工事で通れないこともありまして、アクセスがなおさら悪くなっています。早く堰の工事を終わらせることも必要ですが、この堰からうなぎ屋さんの所を通っていく道も、裏側が取手市ということもあって、取手市等とも協議しながら、アクセスをどうやっていくかということが、今後、水辺公園を活かすためには大切なのかなと思っています。</p>
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、意見交換会を終了させていただきます。 本日は、ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。</p>

龍ヶ崎市 市長公室 道の駅・牛久沼プロジェクト課

【午後の部／龍ヶ崎市役所】 ※発言内容は、一部要約して掲載しています。

発言者	発言要旨
事務局	【開会】
市長	【挨拶】
北創	※北創＝(株)北山創造研究所 【牛久沼感幸地構想について説明】
K計画	※K計画＝(株)K計画事務所 【道の駅基本設計の概要について説明】
市民 A	<p>この構想を初めて見たのですが、たくさんオーバーラップして共感するところがあります。全国では1千を超える道の駅がありますので、今から作るのであれば、ずば抜けてトップクラスの、ものすごくユニークな道の駅を狙って欲しいという思いがありますので、代表例を話します。</p> <p>真っ青な水とビーチを作り、日影でドリンクを飲んで日光浴。屋台も、クオリティの高い選び抜いた屋台を選別し、高度な食フェスとかビアガーデンなど。水辺では様々な水上アクティビティ。ボルダリングなどもあると良いのではないのでしょうか。牛久沼では沼一周サイクリング道路とか、幌馬車用のバスなど。それから、今デジタルアートの技術が向上していますので、そういったものの活用。インバウンドももちろんですし、移動手段の確保として格安シェアカー、レンタルバイク、シティバイクといったものです。</p>
北創	<p>ビーチというご意見はビックリしました。色々アイデアもありますし、ご意見をいただくことは、とてもありがたいなと思っています。</p>
市長	<p>プランが出来上がっている感じで、本当にご提案いただきたいありがとうございます。</p> <p>水に親しめる場所を作るという部分では、北創さんの方からもありましたが、やはり、そのような場所、子供が遊べるような場所を作るということも一つのアイデアであると思います。</p> <p>家族連れで来ていただいたときは、子供にどれだけ楽しんでもらえるかというのが、リピーターに繋がることになりますので、大事な所だなと感じます。</p> <p>露店の話、食べるものにしても、物産品にしてもそうですけれども、やはり差別化できるような、ブランド力のあるものをこの道の駅から産み出していこうというような取り組みも必要だろうと思います。</p> <p>観光物産協会の物産部会の皆様が、そういったブランド力をつけて行こうという取り組みもしていますので、差別化ができるような、他にはないようなものを発信していくような取り組みもすでに始まっていますので、道の駅をきっかけとして、広がっていくといいなと、それがまた道の駅の魅力になれば良いなと考えています。</p>
市民 B	<p>北創さんとK計画さんに伺います。北創さんの説明では、今まで地元で出た意見もきれいにまとめて、非常に解りやすかったと思うのですが、北創さん自身としての考えがどこに入っているのかがよくわからなかったなので、それを教えてください。</p> <p>それから、中の島とか、水辺公園とか、エリアBと道の駅の連携。それぞれがフローティングブリッジなどで繋がると面白いのかなと。また、色々親水的な施設を提案されていましたが、保全の視点をどう考えていたのか。例えば、牛久沼は昔から浮田が有名で、先月も牛久市で牛久沼の写真展があって、非常に良い写真がありました。浮田はエコロジカルの面でも、子供の環境教育の場になると思うので、そういった点も何か、例えば浮田の復活などはどうかとか。</p> <p>それから、K計画さんの方で、休憩施設とレストランの位置は逆の方が良いような気がしたのですが、今の位置だと、レストランから夕日見た時に休憩施設が凄く邪魔になるような気がして、配置が逆なんじゃないかなと思いますし、それから、パスにある展望台はどう考えているのか。展望台を作るよりは、横の広がりのある道の駅なので、それをもっと強調しても良いじゃないかというのが意見です。</p> <p>それから、防災をどう考えているのか、利用者からすれば、小型の駐車場の方にも、24時間のトイレが必要じゃないかなと思います。</p>
北創	<p>弊社のアイデアがどこに入っているかという話ですが、弊社はこれまでも草津温泉のまちづくりとか、色々携わっていますが、割と当たり前のことを当たり前に言って、当たり前のようにやっていると、ちゃんと当たり前の結果が出るというパターン</p>

	<p>が多く、派手なアイデアですと飽きも早いですし、人の注目を浴びた分、やっぱり命が短い時代ですので、派手な提案というのは、あまり提案する傾向にはありません。</p> <p>その代わり、今回の提案で一番重要視したのは、この牛久沼をどうやって、長い間、価値があるものとして育てていくかというような、そういったところを明確にして、ご提案させていただいたものです。</p> <p>アイデアと言えば、中の島を一面の桜にしましょうとか、あとはトレイルにしても、これから一つ一つアイデアを詰め込んで賑わいを作っていきますとか。そういったベースの部分を絞ったので、今後また龍ヶ崎市さんと一つ一つ隣のエリアをどうするのかとか、このエリアをどうするのかとか、少しずつアイデアはお見せできたらと思います。</p> <p>それと、エリアをどのように繋ぐかというのは、途中でお話させていただいた牛久沼トレイルという提案が、それに当たるかなと。</p> <p>20キロ全てを新しい道にするということではなく、今ある道をベースにして、色々な方法で繋げていこうということが、私たちの考えです。</p> <p>浮田の話ですけども、私も写真展、見させていただきました。本当に感動したというか、こういった景色が広がっていたのだなというちょっとした衝撃じゃないですけども、ああいうものはいいなと思っています。</p> <p>水辺にそういった田んぼを浮かせられたら、今の時代本当に名物になるのではないかということをこの提案を作った後に写真展を見たのですが、そういった感じを受けましたので、今後参考にしていきたいなと思っています。</p>
K 計画	<p>休憩施設の位置のご意見ですが、休憩施設は国が整備するという条件もあり、国の指導も頂きながら、建物の配置を行っています。</p> <p>ただ、レストランの位置からですと、中の島をかわして富士山が見えるということ、さらには、なるべくレストランは景色の良い場所が良いだろうということで、この位置に配置したところです。</p> <p>展望台ですが、一つは、道路から見た時に何も高い物がなかったら、60キロの通過交通の中で、アイキャッチとしてその存在に気づいていただけるという所で一つご提案したことと、もう一つ大きいのは、やはりこの牛久沼の全体を見渡せるところが必要ではないかという、そういったご意見も色々いただきまして、それでは、こういった展望台のようなものを作ってはどうでしょうというご提案をさせていただきました。今後、どのようにしていくかは、実施設計で引き続き検討していくこととしています。</p> <p>防災に関しては、建物の建つ場所は今の地面より1メートル盛土して、沼の計画高水位まで川が増水しても、この建物は水没しないようにという一つ対策を練っていますし、敷地の中に防災井戸やマンホールトイレ、非常用自家発電装置なども計画しています。</p> <p>最後に、24時間使用可能なトイレを小型車側にも必要ではないかというご意見ですが、限られた予算の中でやっていますので、全体の予算配分の中で、今後考えていきたいと思っています。</p>
市長	<p>防災機能に関しては災害が起こって、道の駅に長く避難するということは、そこまで想定はできないかもしれませんが、そういった可能性も想定しながら、マンホールトイレ等の整備も検討しているところです。</p> <p>また、大きな災害が起こった場合、茨城県に都心から入ってきて最初の道の駅になりますし、茨城県から都心に入ってくる最後の道の駅になります。</p> <p>6号国道は茨城県を南北に循環する主要国道でもありますし、高速道路が災害で寸断された場合などは6号国道の重要性も増しますので、そういった場合の中継拠点としての役割もあるものと考えています。</p>
市民 C	<p>トイレの数について、男性に比べ、女性の方は2.5倍くらい時間かかるというふうに言われていますし、買い物客についても、やはり女性の方が多いのではないかなと感じますので、女性のトイレは十分確保して欲しいと思います。</p> <p>また、情報発信についても、単なる公共からの観光地案内ではなく市民と双方向にやりとりできるような情報発信の中で、龍ヶ崎の魅力、イイねとか、龍ヶ崎のランキングであるとか、これは龍ヶ崎名物に登録しようとか、そういった盛り上がりにつながっていくような情報発信のありかたも良いのかなと感じました。</p>
K 計画	<p>休憩施設は国が整備する部分となり、トイレの便器数については、前面道路の交通</p>

	量を基に、規定の計算方法によって便器数を決めているようです。
市民 C	それ以外に、龍ヶ崎が追加するのは可能なのですか？
K 計画	物販や飲食が入る市が整備する施設の中にも男女トイレを設ける予定ですし、お子様連れの方もいらっしゃると思いますので、授乳室を設置するとか、多目的トイレですとか、そういったものを市のできる範囲で作っていきたくて考えています。
市長	<p>トイレは、レストラン側、普通乗用車の駐車場側にもあるべきであろうという考えもありますが、それを 24 時間にできるかどうかという部分では、ランニングコスト等の課題もあると思います。国とも協力しながら整備を進めていますので、国が作るトイレ棟も魅力的な良いトイレにしていきたいと思っています。</p> <p>情報発信についても、市としてはここに立ち寄ってくださった方が龍ヶ崎の魅力を探索してくれる。足を運んでもらえるということが目的の一つですので、そういった発信の仕方をしていきたいと思っていますし、広域的な視点でいうと、龍ヶ崎を通過して魅力的なものを見ながら、またその先の周辺エリアの魅力的なところに足を運んで回遊していただくというのも一つの大きなこの道の駅の役割であると思っています。茨城県の、ゲートウェイという役割もありますので、近隣だけでなく、茨城県の紹介などもできればと思います。</p>
市民 D	<p>かなり具体的な構想を聞かせていただき、ありがとうございます。素晴らしい計画、構想だと思います。この構想の中で何が核になるのかと考えましたが、やはり牛久沼トレイルが核になると思います。そして、その次に、泳げる牛久沼。順序を付ければ、このトレイルができ上がれば、その後、機運が盛り上がり泳げる牛久沼に繋がるのかなという思いがあります。</p> <p>これは、龍ヶ崎の思いというか、願いの部分であると思いますので、これは何としても、ぜひ実現していただきたいと思っています。そして、これを進めるにあたって、エンジンはどうするのかと思います。推進して行くエンジンは誰が担って、誰がどういうふうにしていくかということについて具体的な推進の手順または構想、プランがあるのなら、お聞かせください。</p> <p>次に、県議会だよりで、つくば霞ヶ浦リンリンロードがきっかけに、県でも自転車活用推進計画を今年度中に策定するという記事が載っていました。先ほどトレイルの中にもサイクリングロードの構想もありましたので、周辺の首長さんからも協力も得て、なおかつ、県も巻き込んでいくようなことも考えてはどうかと思います。</p>
市長	<p>エンジンという話でしたけれども、運営主体ということだと思います。</p> <p>道の駅は皆さんご承知の通り、原則自治体が作らないと道の駅という名前がもらえないものです。公共性の強い施設であります。運営に関しては、それぞれの道の駅が色々なやり方をしています。直営という所もあるようですが、第 3 セクターで行っている所もあります。</p> <p>市としては、指定管理者制度を活用して運営をしていきたいと考えています。今、選定作業を行っていますので、運営主体が決まった暁には、北創さんや K 計画さんと一緒に知恵を合わせていくこととなります。道の駅がさらにブラッシュアップされていくことを私も期待しているところです。</p> <p>持続性を維持していくということはかなり難しいことだろうと思いますし、やはり運営主体の力は、大変大きなもので肝であると考えています。</p> <p>今後も持続可能な、ずっと皆さんに楽しんでいただける道の駅にしていきたいと考えていますので、この点についても、引き続き皆さんから色々なご意見いただきながら、また、この運営主体に対しても、色々なリクエストをしていただくことが大切なのかなと思います。</p> <p>あともう一つの自転車やトレイルの話がありましたけれども、これこそ、周辺自治体との広域的な協力が必要です。例えば、自転車や歩きで周遊できるようにしても、距離が長いので、それぞれの自治体で拠点を作っていただけるといいような、そういった取り組みの広がりにも繋がっていくと思います。ぜひ、将来的には実現をしていきたい部分でありますし、周辺首長にも前向きに提案をしていきたいと思っています。</p>
市民 E	<p>道の駅の話があるということで、龍ヶ崎をすごく大事に思っているの、ここは龍ヶ崎のまちを活性化させる、一番大事なプロジェクトではないかなと思います。</p> <p>道を作ることについて、牛久沼は本当に夕日が綺麗で、ものすごく素晴らしいところで、北創さんが考えていらっしゃるように、自然を大切に、これを一番私は大事にして欲しいと思っています。</p>

	<p>女性の方とお話すると、皆さんそこが一番大事だとおっしゃっている方が圧倒的で、やっぱり自然を大切にしたいということで、今日お話を聞いてすごく安心しました。</p> <p>建物の方ですが、コンビニについては、明るさが安全にも繋がるのですが、ある意味、たまり場にもなりかねないという、両方の面があると思いますので、そこを聞きたいというのと、あとエリアで、グリーンテラスと水辺のスクリーン。このスペースが、ちょっと狭く感じたのですが、いかがでしょうか。</p> <p>あと、道の駅とエリアAとかBとの繋がり、本当にアクセスを良くしないと、道の駅だけが孤立しちゃうような感じがしたので、そのアクセスをどう考えていくのかなと思っています。</p>
北創	<p>コンビニについては、基本計画の段階からコンビニを入れることになっていたのですが、そこについても議論はしています。議論の中で、まず一つ出たのは、なんでコンビニがあったらいいのかということで、一つは、24時間使えるトイレがある中で、誰の目も届かないような状態になる恐れがあるので、24時間のコンビニがあることで抑止力になるのではないかと話がありました。</p> <p>もう一つは、例えば、この時期だったら汗ふきシートとかタオルとか、ちょっと牛久沼で遊んだ後に欲しいなというものを買う時に、こうした商品を道の駅で扱うと逆に道の駅がコンビニ化していくという恐れもあるのではないかと。</p> <p>ならば、小さいコンビニを作って、道の駅は龍ヶ崎市らしさというか純度を高める、そういった特色あるものに見せていくような手法で、コンビニで扱うようなものは小さなコンビニまとめればいよいよねという話がありました。</p> <p>ただ、運業者によっては、コンビニがあることで全体的な雰囲気損ねてしまうということも懸念することもあると思うので、そういったことについては、また事業者が決まってから、意見を交わしながら、必要性について検討する事項になってくると思います。</p>
K 計画	<p>お尋ねの部分ですが、全体が非常に大きい土地ですので、図面だけを見ると狭く感じるかもしれませんが、実際の規模としてはそれなりに広い緑になります。</p> <p>あと、緑ではありませんが、憩いの場という意味で、沼側に市民の方がいろんなイベントができるような広場を設けています。今のところはデッキ調のもので考えており、ベンチ等の設置やイベントをする設えを整えていきたいと思っています。</p> <p>また、屋内ですが、多目的スペースも設けて、ここも市民の方が使われるような想定をしています。</p> <p>一つ一つの規模はそこまで大きくないかもしれませんが、これらを合わせ、一体的に利用ができるようにという工夫をしています。</p>
市民 F	<p>先ほど北創さんから夕日が一番きれいだと、みんなで寝転がって見ている絵がありましたが、これがコンセプトとなる感幸地だというふうに私も思います</p> <p>また、K 計画さんが建物部分は 1m 高くして湖面を上から見下ろすと言われていましたが、私は逆に沼の広がりを見せる必要があるのではないかと思います。</p> <p>ですから、湖面に向かってラウンドしたデッキがあればもっと広がり感が出てくるのではないかなと。ちょうど、レストランと多目的スペースの間のところの空間が小ぢんまりしているので、沼側にまでデッキを通して湖面を平行に見ながら、なおかつ、夕陽も見られるといいのかなと思います。ラウンドすることによって広がりが出てきますので、人に対して感動を与えるのではないかなと思います。</p> <p>お金の都合とか色々あるかとは思いますが、このスペースを広角的に見せられるような展開をぜひお願いしたいなと思います。</p>
K 計画	<p>建物ですが、全体が大きいので、広場も 900 m<sup>2</sup> 程度あって、非常に大きい設計となっています。ご意見にあった棧橋についても、具体的なことは今後検討できたらと考えていますが、棧橋は川の中ということで法規制などもあるので、どのように実現していくかということについては課題もありますし、予算も非常にかかりますので検討が必要と考えています。</p>
市民 F	<p>もう一つ、中の島を神秘的な場所にするため、竜神様のお宿かなにかを作ったら、龍ヶ崎の牛久沼に竜が住んでいたという伝説にもなりますし、神秘的なものには人は惹かれますので、お社を設けて龍神様を祭るといふようにされると、面白いかなとも思います。</p>
北創	<p>この島に神秘性は必要だと思います。実際、神秘的な感じもしますし、今回、桜の</p>

	<p>提案をさせていただきました。行政なので、宗教との関係は課題もありますが、引き続き、神秘性の確保も考えていきたいと思ひます。</p>
市長	<p>北創さんからもありましたが、以前、つくば市長さんが、一晩貸し切りの限定でキャンプ場にしたらという面白い話をされておりました。それだけ皆さん注目をされている場所なので、ここの活かし方というのは、これからのテーマになってくると思ひます。小さな祠がある沼もありますので、そういった考えも、この地域の魅力づけの一つになってくるかなと思ひます。</p> <p>棧橋に関しては、やはり水辺のアクティビティを考へるときに、水にアクセスする所が必要だろうということで、棧橋も整備したいなという思ひがありまして、絵だけで見るとスケール感が湧かないですけども、あの規模で作ればかなり広い棧橋になるものと思ひます。それ自体がデッキのようなイメージになるものと思ひますので、水辺をバックに色々なことができる場所にもなってくると思ひます。</p> <p>ただし、河川管理者との交渉などもありますので、クリアしなければならない問題もありますし、費用も掛かるといふことで、これは頭の痛いところかなという所でもございますが、皆さんの理解も得られるように検討させていただきたいと思ひます。</p>
市民 G	<p>8年ぐらい前ですが、漁業組合の方に船を出していただいて、蓮を見に行つたことがあります。ここ近年、なくなつてきてしまつたつという話を聞いているのですが、どうなのでしょう。</p>
市長	<p>古代蓮という大変見事な蓮が咲いている場所があるのですが、私もお恥ずかしながら見に行けないまま、実は去年から咲いていないといふようなことです。</p> <p>今年もどうも咲かないようであり、これに関しましては、そういった魅力も水辺を活かすためのツールだと思ひます。</p> <p>また、水辺のアクティビティとしては、ボート、カヌーなども楽しんでいただけるような場所になればなと思ひます。先ほどもお話ありましたが、ウィンドサーフィンとかを楽しんでいる方はすでにいらつしゃらと思ひますので、積極的に水上で楽しむといふことをできるような場所にしていきたいなと思ひます。</p> <p>あと、蓮に関しましては、現在、牛久沼でミシシippiaカミミガメといふカメが大繁殖してしまひまして、カメの影響もあるのではないかといふ話もあります。</p> <p>アシ、ヨシ、なども含め、水質に大変大きく関わってくることもありますので、その対応も取り組んでまいります。</p> <p>古代蓮は私も写真でしか見ていませんが、大変幻想的な風景でもありますし、そういった場所はどんどん増えていってもらえたらいいなと思ひます。</p>
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、意見交換会を終了させていただきます。</p> <p>本日は、ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。</p>

龍ヶ崎市 市長公室 道の駅・牛久沼プロジェクト課